

臨海部広域斎場組合増築施設設計支援業務について

1. 設計支援業務の目的

令和6年度策定「臨海斎場施設整備基本方針」に基づき増築施設建築の基本・実設計を行う受託者に対し、火葬炉設備の整備予定者が火葬炉設備に関する情報提供等を適切に行い、増築棟の設計図書を取りまとめるために設計支援業務を委託するものである。

この設計支援業務により、火葬炉設備の形状、荷重などの諸条件を踏まえた設計業務を適切かつ円滑に進めるとともに、設計業務に係る火葬炉設備整備事業者の業務内容や責任関係を明確化し、適切な業務分担のもと設計業務を進める。

2. 業務内容案

増築施設に設置する火葬炉設備に関して以下の業務を行う。

(1) 火葬炉設備配置計画（機器の配置計画図）の作成

設備の配置について機器の配置計画を行い、配置計画図を作成する。作成には以下の図面を含む。

- ・火葬炉設備のフローシート
- ・1階機器設備平面図、立面図
- ・2階機器設備平面図、立面図
- ・R階機器設備平面図、立面図
- ・詳細図

(2) 火葬炉構造図及び荷重分布図、火葬炉設備詳細図の作成火葬炉構造図（築炉構造図）及び各設備詳細図を示す。

構造図では機器の荷重分布図を作成し荷重及び重心・偏心について示すこと。

- ・火葬炉構造図（築炉構造図）
- ・各設備詳細図（主燃焼炉・再燃焼炉ガスバーナ詳細図、燃料（ガス）供給ユニット図、燃焼用空気送風機詳細図、排ガス冷却器・冷却用送風機、バグフィルタ及び付随装置、残骨灰処理設備、飛灰処理設備、柵・炉内台車兼用運搬車、炉内台車、ダンパ・ダクト、火葬炉前室（冷却室）炉内台車移送装置、非常用バーナ、収骨トレー、電気設備容量計算書及びシステム運転負荷計算書、制御シーケンス図、計装及び計装一覧表、盤類形態図及びシステム内容、火葬炉設備単線結線図、その他必要設備資料等）

- (3) 騒音対策及び振動対策に関する資料の作成
- 騒音及び振動に対する資料を提出し、夜間運転の際の騒音・振動に関する目標数値を示すこと。
- (4) 必要空気量に関する資料の作成
- 火葬炉設備に必要となる必要空気量等に関する資料を示すこと。
- (5) 発熱量に関する資料の作成
- 火葬炉設備の発熱量に関する資料を示すこと。
- (6) 燃料使用量及び燃料取合区分に関する資料の作成
- 火葬 1 件あたりの想定燃料使用量を示し、燃料取合い区分について示すこと。
- (7) 電気設備区分に関する資料の作成
- 火葬炉設備に関する設備負荷容量、非常用発電機との取り合い、高調波対策に関する電気設備区分表を示すこと。
- (8) 付帯設備取合いに関する資料の作成
- 火葬炉設備に関する運搬車、灰処理装置等に関する資料を示すこと。
- (9) 火葬炉室及び諸室に関する資料の作成
- 火葬場設計に際し注意すべき点、維持管理などについてまとめ、火葬場に関する設計への理解を深めるための資料とすること。
- (10) 事業工程、施工計画に関する資料の作成
- ・火葬炉設備に関する事業工程計画（各種法手続きの工程等）、施工計画（工事期間、施工順序、工事範囲等）を作成する。施工要領及び更新計画図を含む。
 - ・火葬炉設備新設項目一覧表及び各概算金額内訳書も含む。
 - ・担当者と調整し、予算や調整などのスケジュールも踏まえること。

(11) 仕様書の解釈についての疑義の決定

本仕様書の解釈について疑義が生じた場合は臨海部広域斎場組合と協議し決定する。

(12) その他

別途臨海部広域斎場組合が発注する臨海部広域斎場組合増築施設基本・実施設計について、設計を行う事業者との打合せに参加し、設計図書のとりまとめに協力すること。疑義が生じた場合は監督員と都度協議し決定する。